

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市整備局河川公園部水環境課
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

## 1 指定概要

施設概要	名称	水環境館	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市小倉北区船場町 1-2		
	設置目的	川・自然・環境について理解を深め、楽しく遊んで学べる体験型学習施設として設置		
利用料金制	非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名称	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体		
	所在地	小倉北区堺町一丁目 6 番 15 号		
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設の管理に関する業務 (建物の保守管理及び保安、施設の補修、付随施設の設備管理)</li><li>・ 施設の運営に関する業務 (施設利用の受付、館内案内・展示物説明)</li><li>・ その他 (イベントの実施、その他市が指示する事項)</li></ul>			
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																																	
1	<p>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</p> <p>④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>令和6年度の年間利用者数は前年度より 15,431 人(7.7%)増加しており要求水準、目標値とも上回る結果となった。これは歴代で2番目に多い結果である。土日祝日のイベント開催を中心に利用者が多く、夏休みや春休み期間などの長期休暇期間中は平日の利用者も多く、月間利用者数が 20,000 人を超える月もあった。</p> <p>館内外問わず開催している各種イベントでは、河川に関する講演や演奏会等を行うことで来場者へ川の魅力や歴史をアピールしている。</p> <p>広報活動については、水環境館 HP や市政だよりにイベント情報を掲載するほか、SNS を活用して迅速かつきめ細やかな情報発信を行った。また、新聞掲載やテレビ出演を通じて、幅広い世代に水環境館の魅力を伝えることができた。</p> <p><b>施設利用者数</b> (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>【参考】H28年度 (更新前)</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要求水準</td> <td>166,000</td> <td>180,000</td> <td>180,000</td> <td>180,000</td> <td>180,000</td> <td>180,000</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>167,000</td> <td>180,000</td> <td>185,000</td> <td>120,000</td> <td>168,000</td> <td>200,000</td> <td>205,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>167,205</td> <td>182,252</td> <td>107,100</td> <td>131,484</td> <td>189,332</td> <td>200,306</td> <td>215,737</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">R6</span> . . . 評価対象年度</p> <p>(2) 利用者の満足度</p> <p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>④ 利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	利用者数	【参考】H28年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	要求水準	166,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	目標値	167,000	180,000	185,000	120,000	168,000	200,000	205,000	実績	167,205	182,252	107,100	131,484	189,332	200,306	215,737
利用者数	【参考】H28年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																										
要求水準	166,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000																										
目標値	167,000	180,000	185,000	120,000	168,000	200,000	205,000																										
実績	167,205	182,252	107,100	131,484	189,332	200,306	215,737																										

〔所見〕

利用者アンケートの結果は、展示内容・イベント、館内施設、清掃や居心地のすべての項目において概ね目標を達成している。

来館回数については、10回以上訪れている人が全体の33パーセントを占めており、リピーター率が高いことが分かる。

自由回答欄には、「紫川の環境や生物、歴史について学べた」という声もあり、施設の設置目的を達成できているものといえる。

一方、自主事業のカフェについては、より充実した内容を求める声が見られた。

【利用者アンケート結果】

○来館者数

来館回数	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	人数 (人)	割合 (%)										
初めて	180	32	49	21	28	30	76	26	59	29	76	41
2～5回	195	35	71	30	39	42	104	36	47	23	46	25
6～9回	29	5	19	8	19	20	72	25	15	7	2	1
10回以上	154	28	98	41	7	8	39	13	86	42	61	33
合計	558	100	237	100	93	100	291	100	207	100	185	100

○利用者満足度（展示内容・イベント等について）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実績	99%	100%	96%	97%	96%	95%

○館内施設について

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実績	99%	100%	97%	94%	96%	90%

○清掃や居心地について

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実績	100%	100%	96%	92%	98%	92%

※目標値：「非常に満足」、「満足」の合計値

※  ・・・評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

共同企業体を構成する企業が清掃、維持管理を行うことで経費の削減を行っており、また建物全体を管理することで、設備ごとに別々に業者に依頼するよりも効率的な維持管理を行っている。

また、共同企業体を構成する企業が、カヌーの指導者養成分野にて業界を牽引しており、自社でカヌー資格の取得が可能のため、職員研修費を抑制している。

(単位：千円)

指定管理料	【参考】H30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算	26,438	25,049	25,190	24,961	25,024	25,004	25,653
決算	24,789	25,049	25,190	24,961	25,024	25,004	25,653

(単位：千円)

総事業費	【参考】H30年度(更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算	30,138	26,039	26,217	26,160	26,380	26,513	27,453
決算	25,766	26,217	25,527	25,931	26,902	26,611	26,921

(単位：千円)

うち光熱水費	【参考】H30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算	4,628	4,070	2,604	2,640	2,420	2,420	2,200
決算	2,139	2,070	2,441	1,857	2,462	2,377	2,506

※  . . . 評価対象年度

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

都市公園条例により入館料を定めているが、多くの方に自然環境の啓発活動を展開するため、入館料を無料としている。

指定管理者では、水辺を身近に親しめるカヌー体験や生き物調査など、設置目的につながる様々な自主事業を積極的に取り組み、収入を得ている。人件費や水道光熱費などの管理運営費が増加した場合は、その収益の一部を管理運営費に還元することで、効率的な管理運営を行っている。

(単位：千円)

自主事業	【参考】30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入 (収益)	359	4,355	2,524	3,257	5,543	5,010	5,436
支出 (経費)	997	3,616	2,116	2,176	3,408	3,303	3,465
収支 (利益)	▲618	739	408	1,081	2,135	1,707	1,971

(単位：千円)

施設の管理運営事業		【参考】30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入	指定管理料	24,789	25,049	25,190	24,961	25,024	25,004	25,653
	自主事業収益還元費	0	739	337	970	1,878	1,607	1,268
支出	管理運営費	24,789	26,217	25,527	25,931	26,902	26,611	26,921
収支		0	▲429	0	0	0	0	0

※  . . . 評価対象年度

## 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

## (1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

## [所見]

人員配置については、正職員3名パート職員3名の6名で管理運営を行っている。また、事務改善や人権・マナー、安全管理などの職員研修を定期的を実施し、職員の能力向上を図っており、利用者満足度の向上につながっている。

もじ少年自然の家、玄海青年の家、かぐめよし少年自然の家の指定管理業務も行っており、相互支援体制を構築することで、人件費抑制と利用サービスの向上を行っている。

講習会要望があった際には、市民センターや学校、他団体への講師の派遣を行い、地域や関係団体の活動に貢献している。

## (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮され

ていたか。

- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

**[所 見]**

個人情報の保護管理規定を設けており、個人情報は金庫に保管を行っている。また、裁断破棄を行っており、適切に個人情報保護のための対策が取られている。

施設の運営管理については、維持管理及び経理に係るモニタリングを実施し、不適切な点がないか確認を行った。

日常的に点検を行い、月に1回は専門職員による巡回点検を実施し、施設設備機器を定期的に診断、良好な設備管理を行っている。

また、事故や災害の発生に備え、防災訓練やAED訓練を行い、緊急時にも対応できるように体制を整えている。

**【総合評価】**

**[所 見]**

令和6年度は指定期間の最終年度であるため、入館目標を205,000人と目標値を高く設定したが、新しい取り組みに挑戦した結果、入館目標を達成し、入館者増加に努めた。

また、館内の生物展示に加え、紫川でのカヌー体験や生き物調査を通じて、川の自然や歴史、北九州市の環境について、見るだけでなく体験することで学ぶことができ、理解を深め、楽しく遊んで学べる体験型の施設としての役割を果たしている。